

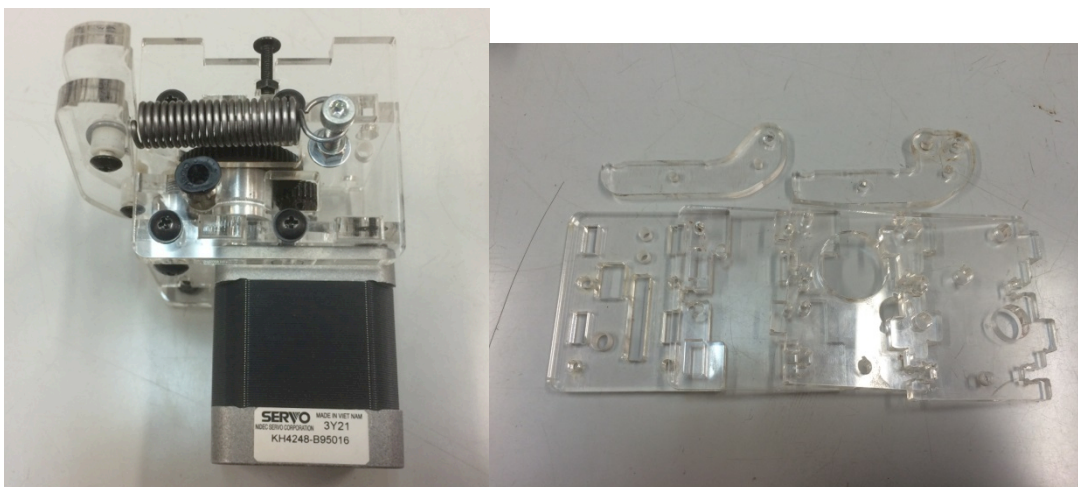
新型フィーダー組立て手順書

新型フィーダーを組み立てるのは、

- ①新規で BS01+ のキットをご購入された方。
- ③デュアルセルフキットをご購入された方で新規に一台新型フィーダーを追加される方。
- ②既に BS01 をお持ちで、フィーダーを新型フィーダーにアップグレードされる方。
です。

アップグレードされる方は既存のフィーダーの分解から行います。

既存のフィーダーの部品を多数使用しますので、先ず既存のフィーダーを分解して下さい。



既存の亚克力部品は使用しません。それ以外の部品は再利用しますので、丁寧に分解して下さい。

フィーダーの分解は特に手順はありませんが、張力の掛かっているバネを外してから、ネジを全て外すと分解できます。



分解したフィーダーの部品(ネジ・ナット類以外)
赤丸のスペーサー4個は使用しません。

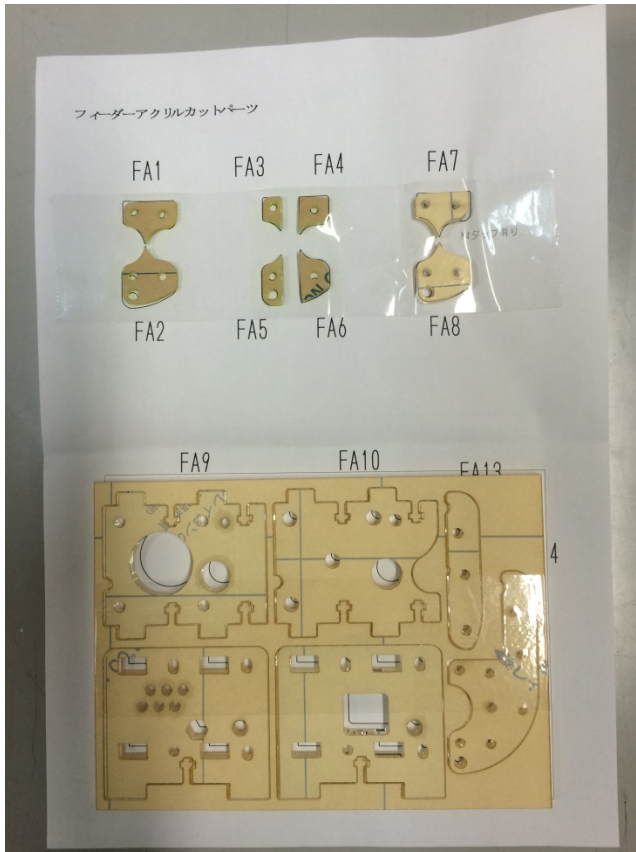


分解したフィーダーのネジ・ナット部品

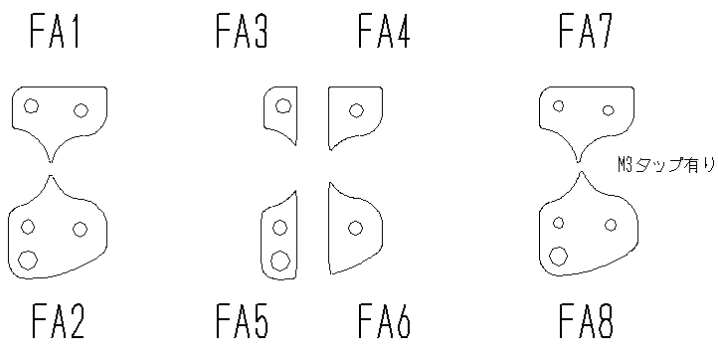
次ページからフィーダーの組立てです。

この手順書は 1st フィーダー用です。デュアルで 2nd フィーダーも組み立てる方はアクリルの裏表が全て逆になりますが、使用する部品は全て同じです。

同梱されているアクリルパーツを確認します。



台紙に貼り付けて梱包されています。



小さなアクリルパーツ

細かい部品が多く間違えやすいので、形状と部品番号を整理します。

FA1 黄色透明 厚さ 2mm のパーツ

FA2 黄色透明 厚さ 2mm のパーツ

FA3 黄色透明 厚さ 2mm のパーツ

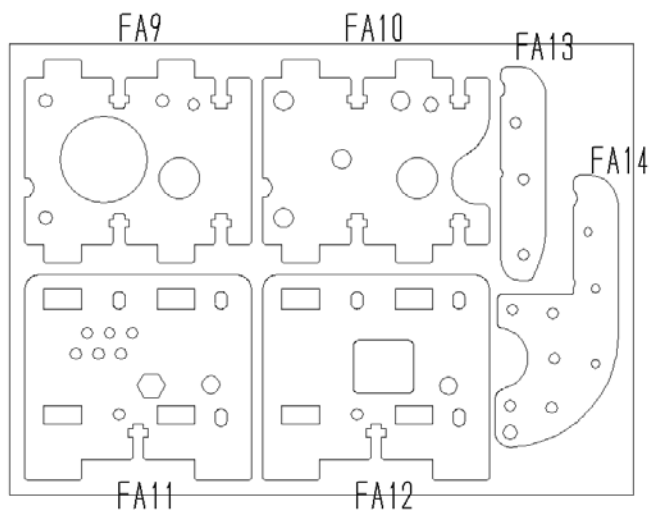
FA4 黄色透明 厚さ 2mm のパーツ

FA5 黄色透明 厚さ 2mm のパーツ

FA6 黄色透明 厚さ 2mm のパーツ

FA7 透明 厚さ 4mm のパーツ M3 のタップ穴加工済み

FA8 透明 厚さ 4mm のパーツ M3 のタップ穴加工済み



5mm 厚さのアクリルパーツ

FA9 ベアリングハウジング モーター側

FA10 ベアリングハウジング アーム側

FA11 天面

FA12 底面

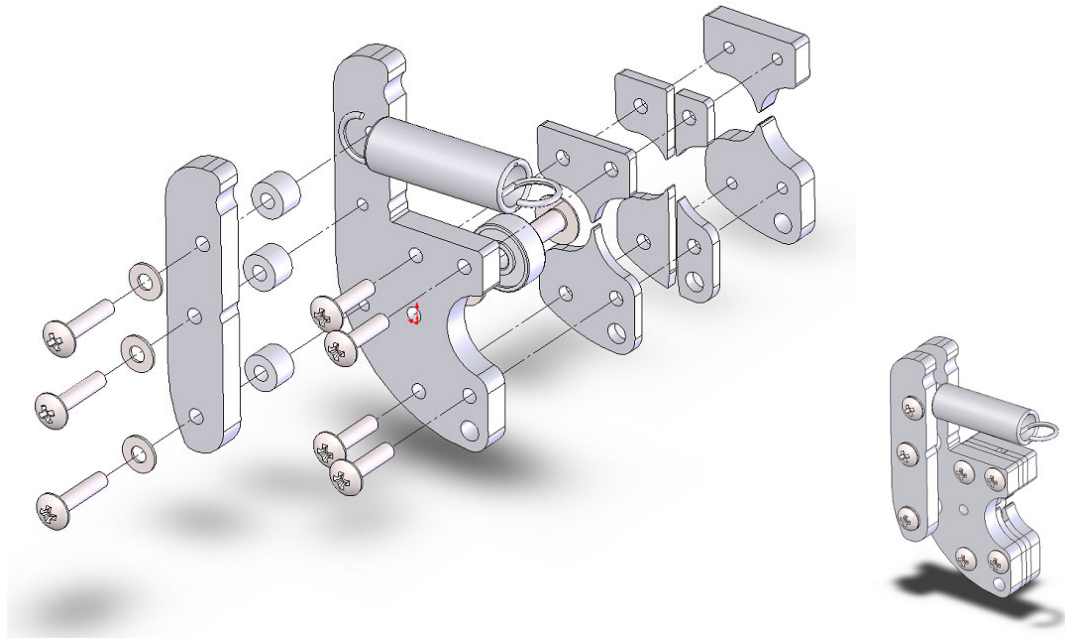
FA13 アーム 2

FA14 アーム 1

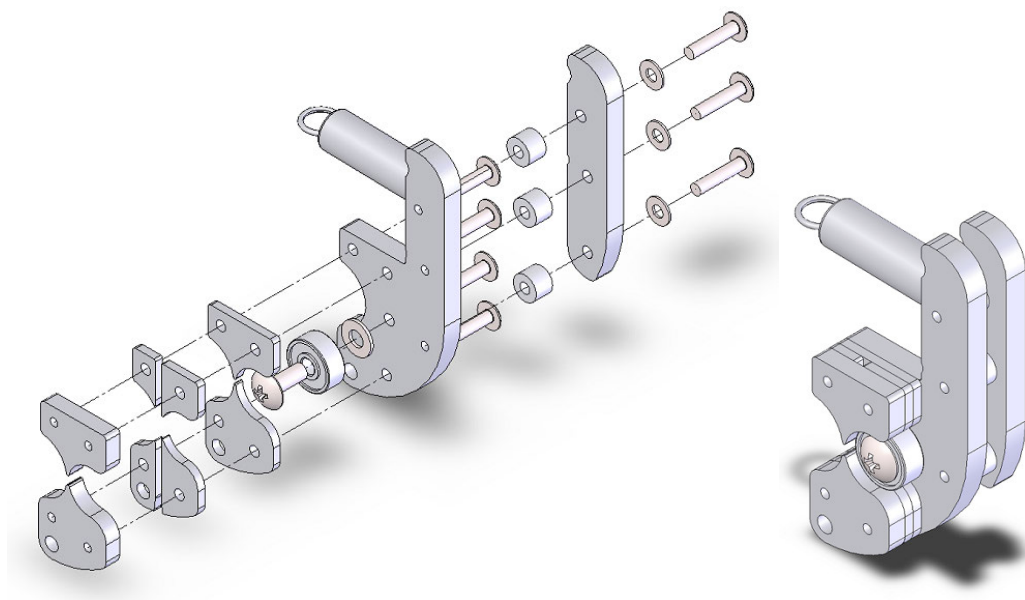
アームの組立て

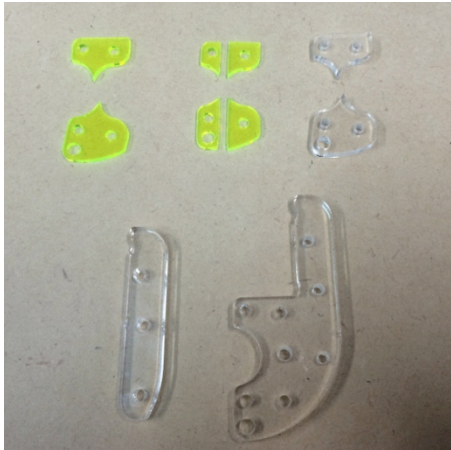
フィラメントをガイドするアームを先に組立てます。

展開図を見ながら次ページからの手順で組み立てします。



反対側から見た展開図





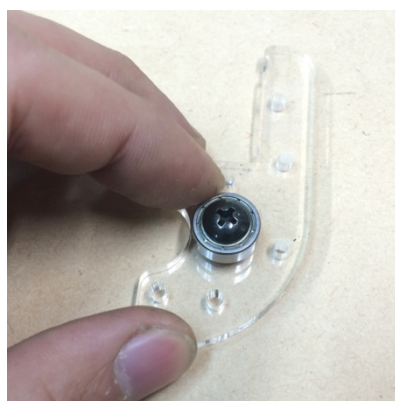
アーム組立てに必要な亚克力パーツ



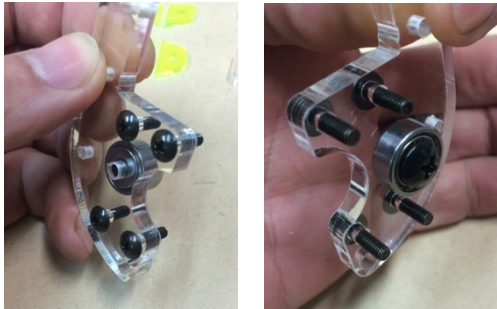
左から M4 平ワッシャ ベアリング 624ZZ M4-10 トラスねじ を準備します。



写真の様に組みます。 ベアリングの左に平ワッシャ ベアリングの右にトラスねじ



FA12 の亚克力パーツに写真の向きで固定します。
ベアリングが軽く回るか指で確認して下さい。 ベアリングが回らない時はベアリングの表裏を反対にします。



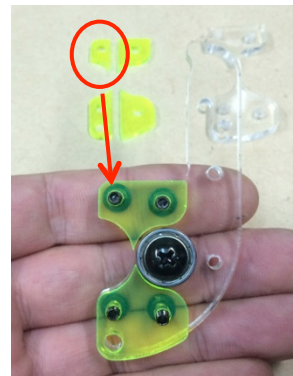
ベアリングを付けた反対側から 4 本 M3-12 トラスねじを通します。(ワッシャ不要)



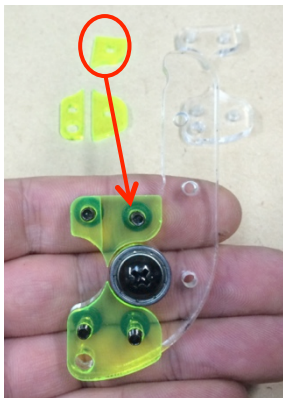
FA1 をネジに通します。



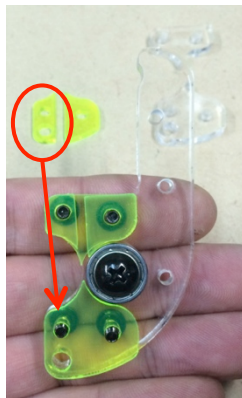
FA2 を通します。



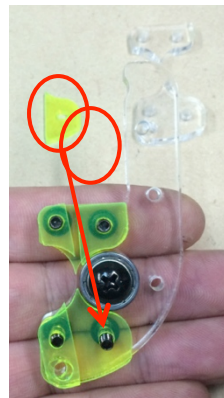
FA3 を通します。



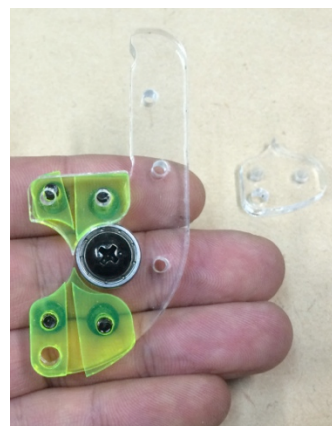
FA4 を通します。



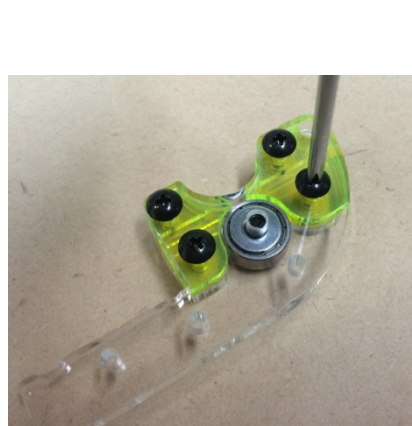
FA5 を通します。



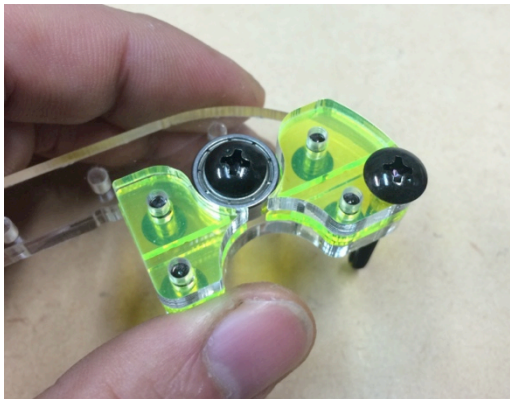
FA6 を通します。



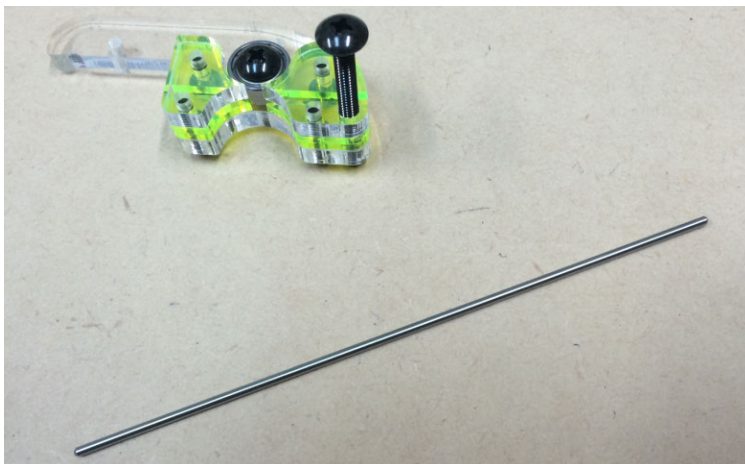
FA7 と FA8 と穴位置を合わせて置きます



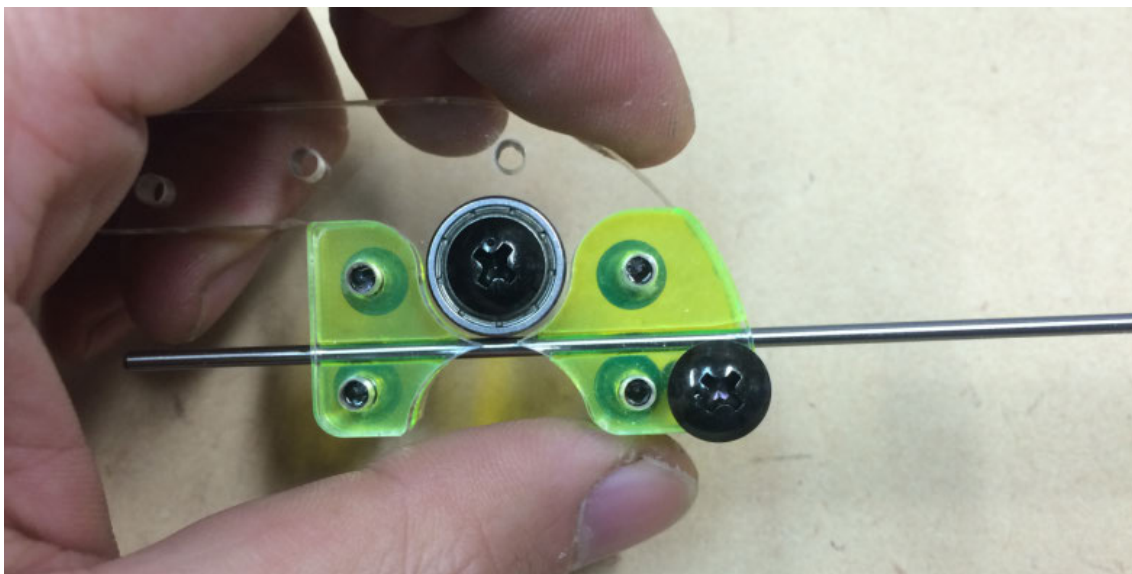
ドライバーで緩く仮止めします。



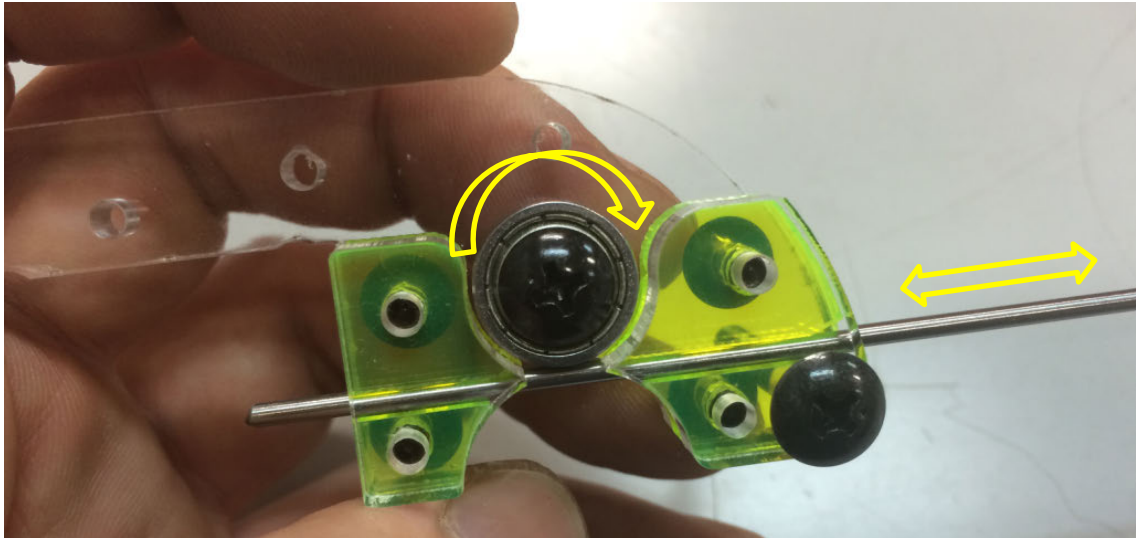
仮止めしたパーツに M4-35 トラスねじを通します。



ノズルパーキットの棒を用意します。



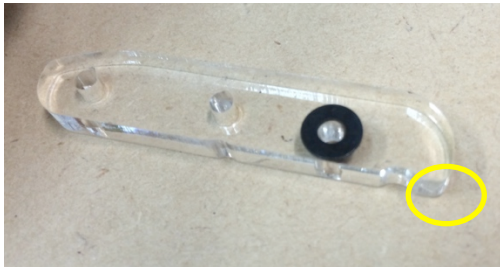
棒を写真のように通します。
※造形時にこの棒の流路にフィラメントを通ります。
通りにくい場合は M3-12 トラスねじを緩めて通して下さい。
何度かズコズコするとアクリルのバリもとれて通りやすくなります。



棒を動かしてガタがなく、ベアリングと棒が接触して少し回る位の位置で M3-12 トラスねじ 4 本を締めます。
※黄色いアクリルパーツを調整しながら固定する位置を決めて下さい。



FA13 アクリルパーツ テンションスプリング M3 スペーサ厚さ 5mm
M3-14 トラスねじ M3 平ワッシャ を用意します。



黄色丸の凹み部分に近い穴の上に
M3 平ワッシャを置きます。



M3-14 トラスねじを通します。



M3 スペーサ厚さ 5mm を置いて、スプリングの輪を掛けて FA13 を上に乗せてドライバー
で仮止めします。



残りの 2 つの穴にもスペーサを置いて、平ワッシャと M3-14 トラスねじで仮止めします。



平らな台の上に写真の向きを置いて、台にピタッと合わせた状態で 3 箇所本締めします。
アームが出来上がりました。
念のため、ベアリングが回るか。パージキットの棒がスコスコ通るか確認して下さい。

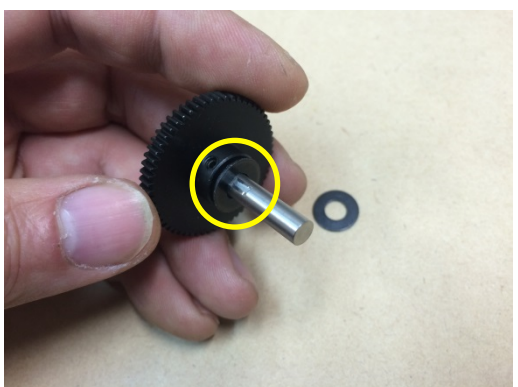
ドライブ部の組立て



ギヤ ドライブロール ベアリング F685ZZ ドライブシャフト
M3 ホーローセット 2個 M5 平ワッシャ 2枚 を用意します。



面位置を合わせてギヤのホーローセットを固定します。
ホーローセットはドライブシャフトの平らな部分で固定します。



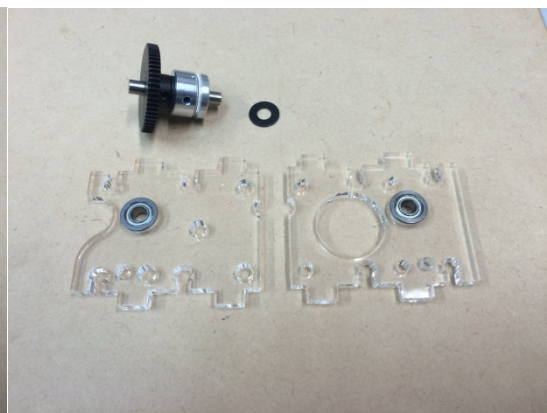
M5 平ワッシャを 1 枚入れます。



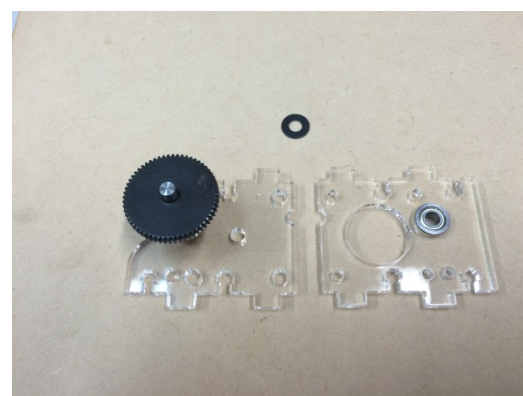
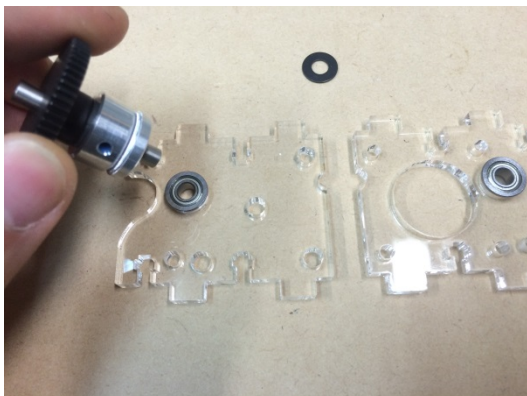
ドライブロールを入れます。



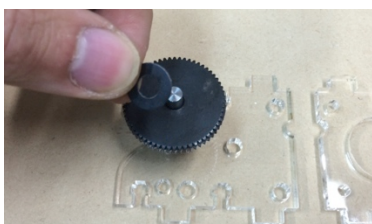
ドライブロールをピッタリ密着させてホーローセットで固定します。
※このドライブ部は 3D プリンターの可動部分の中で一番ねじが緩みやすい部分です。
しっかり締めて下さい。



アクリルパーツ F9 と F10 を写真の向きで並べます。切欠マークが上で向かい合うように。
その後ベアリング F685ZZ を穴に入れます。

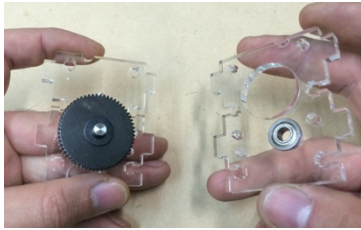


左のベアリングの穴にドライブ部をドライブロール側から挿し込みます。

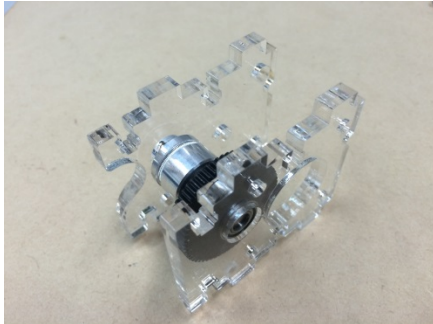
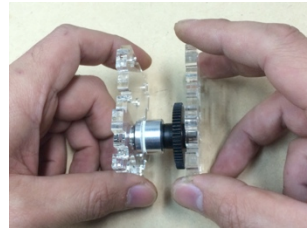
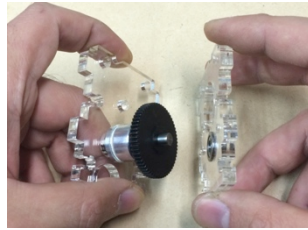


ギヤから出ているシャフトに M5 平ワッシャをセットします。





2つの板を合体させます。



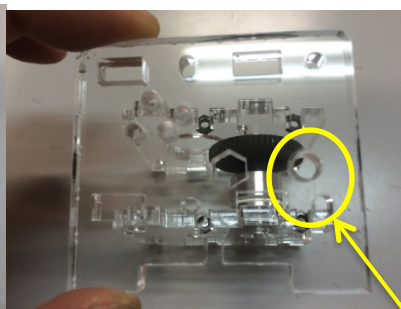
この状態になりました。



M3-12 トラスねじ 8本
M3 平ワッシャー 8個
M3 ナット 8個



ナットを嵌めます。

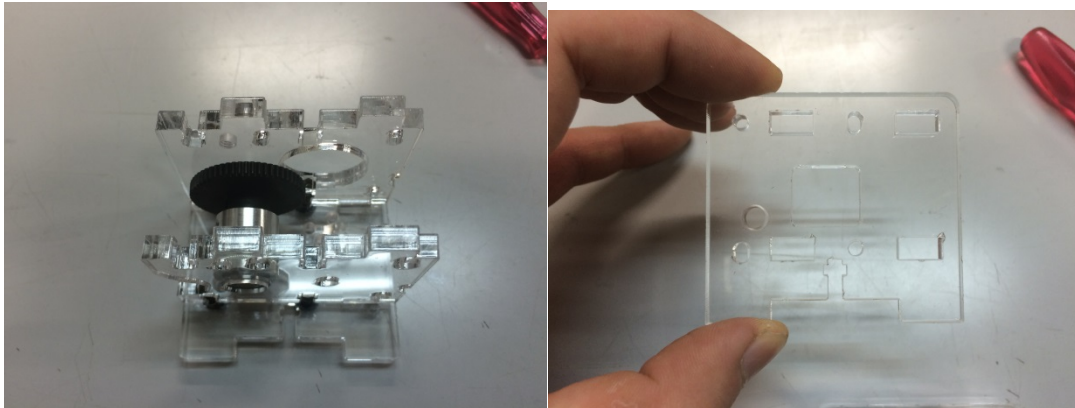


FA11 を被せます。

出口チューブ継手 M6 穴

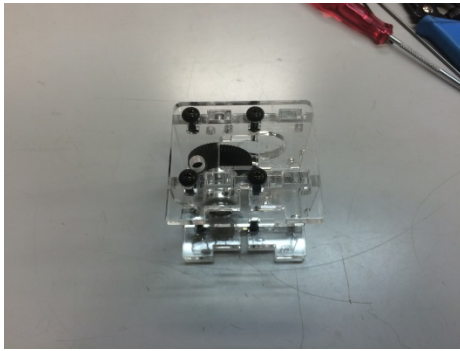


M3-12 トラスねじ M3 平ワッシャで仮止めします。



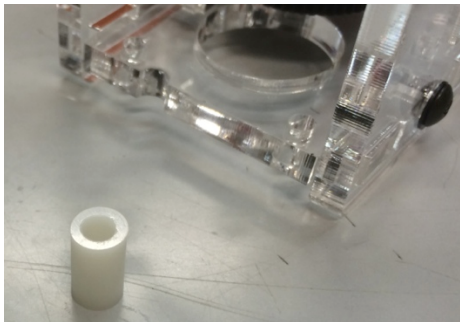
上下逆にします。

ナットを4箇所嵌めて残りのアクリルパーツを取り付けます。

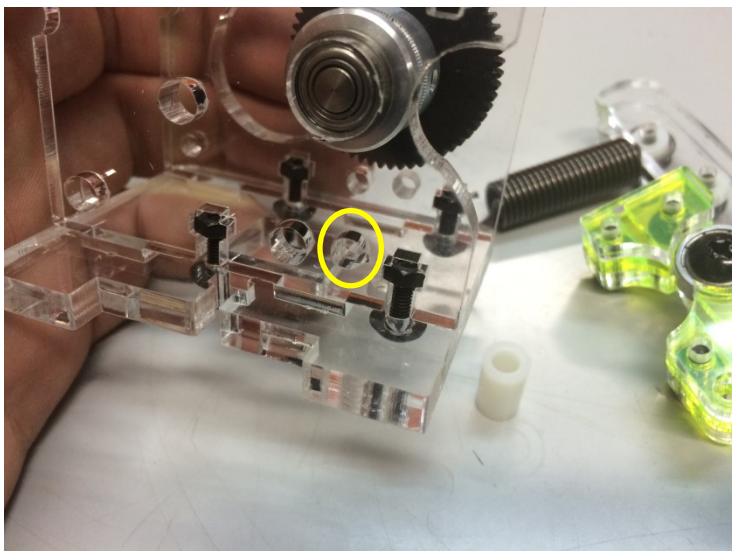


まだ仮止めです。

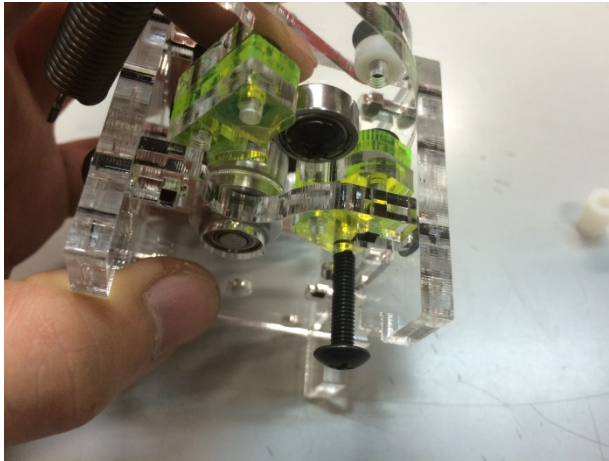
これから本体とアームを合体させます



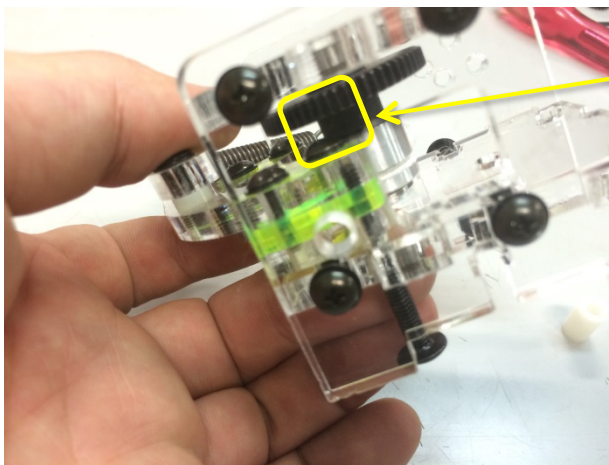
M4-12 のスペーサー



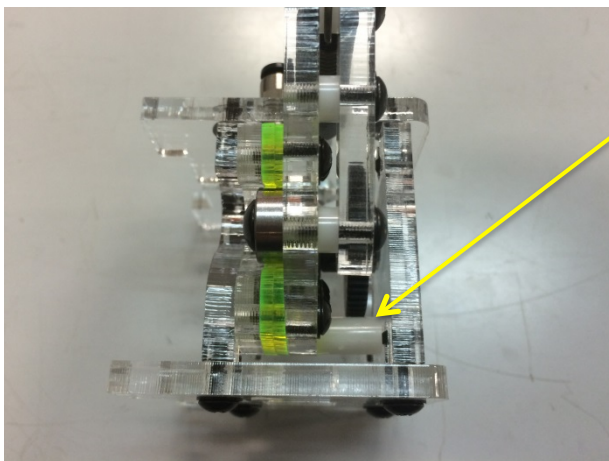
手順としては黄色の穴からM4-35 のトラスねじを入れて、アームを通して、M4-12 スペーサーを通して、反対側のアクリルパーツのタップ穴にねじ込みます。



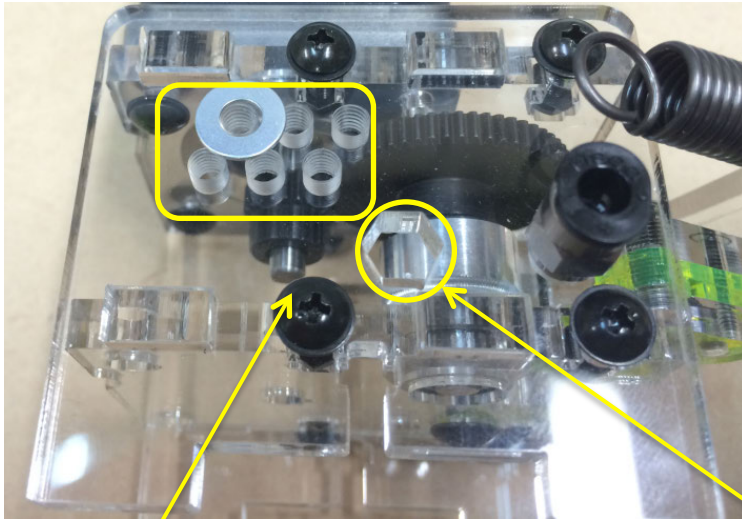
M4-35 トラスねじは既存フィーダーから取り外してものです。



この部分に M4-12 スペーサーを入れてねじを通します。



入れたスペーサー



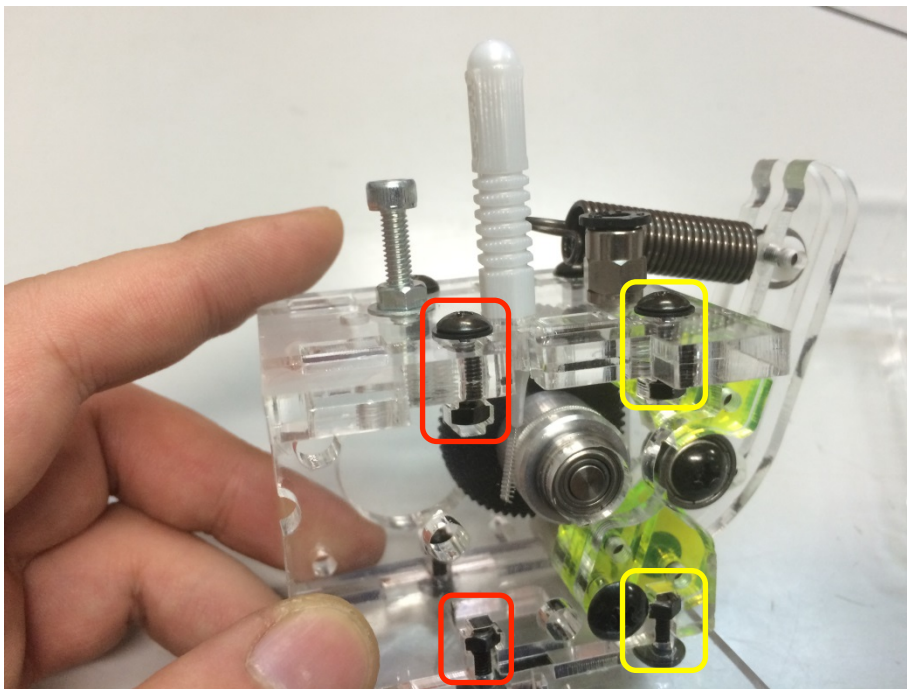
テンション調整穴

掃除ブラシ穴

バネの強さをテンション調整穴に取り付けるキャップボルトの位置によって調整できるようになっています。最初は左から 2 番めワッシャの置いてある穴にキャップボルトをセットして下さい。

掃除ブラシ穴に歯間ブラシを入れてドライブロールの溝を掃除しながら造形できるようになっています。

適用ブラシは GUM の歯間ブラシです。ドラッグストアでご購入下さい。



チューブ継手・M4-20 キャップボルトを取り付けます。

黄色部分のねじはナットが内部でアームと接触しないように、アームを動かしながらナットの位置を調整してから締めて下さい。

赤色部分のねじはそのまま締めて下さい。

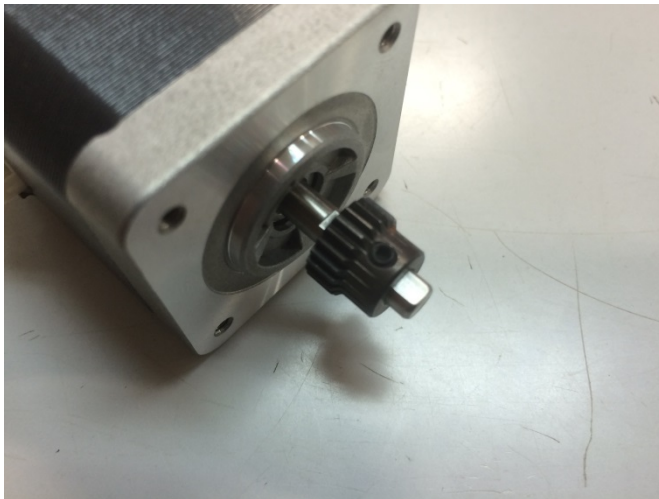
モーター取り付け側のねじは仮止めのままです。



組み上がったフィーダーにモーターを取り付けします。

いずれの部品も既存フィーダーより外した部品です。

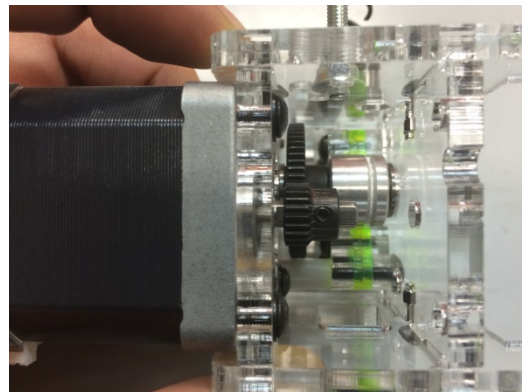
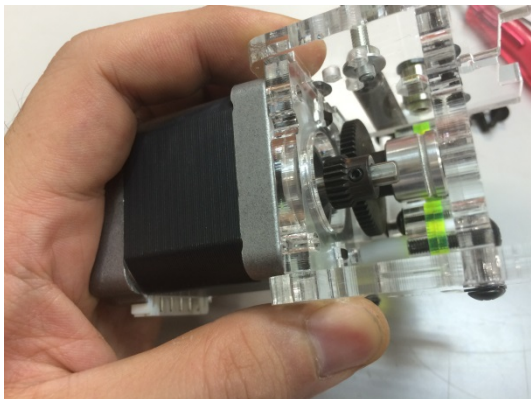
モーター
ギヤ小(ホーローセット付)
M3-10 トラスねじ 3本
M3 平ワッシャ 3枚



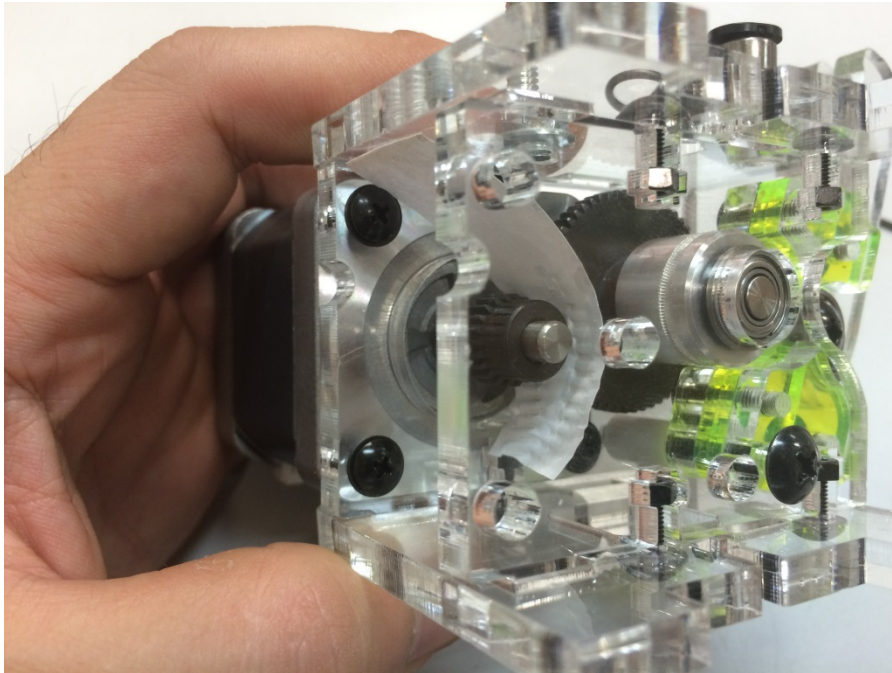
モーターにギヤを取り付けます。
モーターのシャフトの D カット (平らな部分)とホーローセットを合わせます。

以前のフィーダーとギヤを入れる向きが反対です。注意して下さい。

まだ仮止めです。



モーターを取り付けして M3-10 トラスねじと平ワッシャーで仮止めした後、大きなギヤとモーターに付いた小さなギヤがしっかり噛みあう位置に小さなギヤを調整してホーローセットを固定します。



ギヤとギヤの間にコピー用紙一枚挟んで、ギヤを押し付けた状態でモーターを固定します。

仮止め状態だったモーター側の M3-12 トラスねじを固定します。

コピー用紙を抜いてフィーダーの出来上がりです。